沖洲小　学校だより
R5-No.8

2023年11月17日発行
徳島市沖洲小学校

１０月、１１月の児童朝会での話を簡潔にまとめて紹介します。

１０月３０日　「国民の祝日」

今週の金曜日、１１月３日は「文化の日」でお休みです。「文化の日」のようなお休みのことを、「国民の祝日」といいます。
○３択クイズ（国民の祝日は１年間で何日ある？）
正解は、１６日でした。ちなみに一番国民の祝日が多い月は、何月でしょう？
それは、ゴールデンウィークがある５月です。憲法記念日、みどりの日、こどもの日と、３日あります。
逆に、国民の祝日がない月は、何月でしょう？
それは、６月と１２月です。１２月は、５年前までは、１日ありました。１２月２３日が天皇誕生日という国民の祝日でした。今は、２月２３日が天皇誕生日になっています。
１１月３日の文化の日は、６年生は知っていると思いますが、日本国憲法の公布日です。国民の祝日には、それぞれ目的があって、文化の日は、「自由と平和を愛し、文化を進める日」とされています。今週の文化の日、本を読んだり、絵を描いたり、見たり、博物館に行ったりしてみるのもいいかもしれませんね。

１１月４日　「季節外れの桜の花」

先週の朝、正門のところに行こうとグリーンベルト歩いていると、時計台の横の桜に、花が咲いているのを見つけました。（写真）この桜は、ソメイヨシノといわれる桜で、普通なら、春に花が咲きます。（写真）
○３択クイズ（春でもないのに、桜が咲いたのはなぜ？）
正解は、春だと勘違いした　です。桜が春と勘違いするわけは、強い風が吹いて、桜の葉が落ちると、桜の木は冬が来たと思いこみます。その後、暖かい日が続き、気温が高い日が続くと、今度は春が来たと勘違いし、花を咲かせるそうです。本来咲く時期とずれて、花が咲くことを「返り咲き」といいます。
桜の中には、冬に咲く桜もあります。校舎の西側に植わっている「カワヅザクラ」です。昨年も、こんな花が咲きました。（写真）
身の回りにあるいつも見慣れた景色の中にも、いつもと違うものや不思議が隠されているかもしれません。また、見つけてみてください。

１１月１３日　「この植物は何？」

朝、校舎を見て回っていると、校舎の南側、花壇のところで、こんな植物を見かけました。（写真）
○３択クイズ（この植物の名前は、何？）
正解は、３番　オナモミです。１・２年生は、正解した人も多かったのではないでしょうか？
オナモミは、最近の環境の変化で、絶滅危惧類に指定されている植物だそうです。みなさんにとっては、「ひっつき虫」として、なじみがあるかもしれませんね。
ひっつき虫は、人間や動物の体にうまくひっつき、その人や動物によって運ばれて、別の場所に種が落ちて、そこで新しく育つことができるようになっています。
ひっつき虫がくっつくと、なかなかとれずに、苦労した経験がある人もいるでしょう。また、草むらを歩いたりすると、知らない間にズボンにいっぱいくっついていたという経験がある人もいるかもしれませんね。
私たちにとってはちょっとめいわくなくっつき虫ですが、実は人間の役に立っていることもあります。
○クイズ（くっつき虫をヒントにして、発明されたものは何？）
正解は、マジックテープです。スイスの技術者「ジョルジュ・デ・メストラル」という人が、自分の服や犬の毛についた「ひっつき虫」を見て、なぜ、くっつくのだろうと不思議に思い、顕微鏡で調べてみたのがきっかけです。そこで、「ひっつき虫」の先がカギ型、フックの形になっていることを見つけました。そこから、何度も何度も工夫して、マジックテープのもとになる面ファスナーをつくったそうです。実は、２階にある日本地図にも使われています。（写真）
人間が自然のものからヒントを得て、つくったものは他にもあります。自然の不思議をじっくり見てみるのも、何かの発見につながるかもしれませんね。よく観察してみてください。